

EFS (Emergency Fuel Surcharge)導入のご案内

平素より弊社サービスをご利用いただき誠にありがとうございます。

弊社ハパックロイドでは、現在進行中の地政学的状況により燃料価格が急騰し世界的にバンカーコストが増加している状況を鑑み、Marine Fuel Recovery Charge (MFR) ではカバーしきれない特別なコストを補填するため、全トレードを対象に Emergency Fuel Surcharge (EFS : 緊急燃料サーチャージ) を導入することになりましたのでご案内申し上げます。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

本サーチャージは、2026年3月23日付きで（本船ETDベース）、北米向けは2026年4月8日付きで（搬入ベース）、に適用されます。

本EFSの詳細は以下のとおりです（※SSE規制（中国）対象範囲に該当する貨物は除く）。

EFS (USD/TEU)

Scope	Direction	Dry / USD per TEU	Reefer / USD per TEU
Long Haul	Front Haul	160	225
Long Haul	Back Haul	70	100
Intra Regional		70	100

詳細につきましては、こちらのリンクよりご確認ください。 [\[here\]](#).

ご質問などございましたら弊社営業担当、ないしは japan@sales.hlag.com にお問い合わせください。よろしくお願い申し上げます。

Please remember that all relevant information is always available to you in the tariff section of our **Online Business Suite**. If you should require additional information, please contact our customer service team at your **location**, who will guide you based on your individual situation.

Best regards,
Hapag-Lloyd
Japan

Follow our story:

